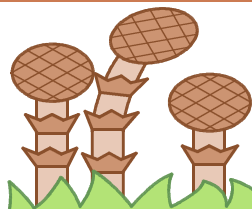


丹邱学舎

＜学校教育目標＞

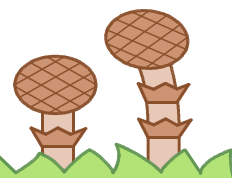
志をもち、自ら学び、共に高め合い、
たくましく生きぬく西溪っ子の育成

令和4年3月9日(水) 文責 校長 南里美紀江



あいさつ活性化チーム

～プロジェクトAの取組～



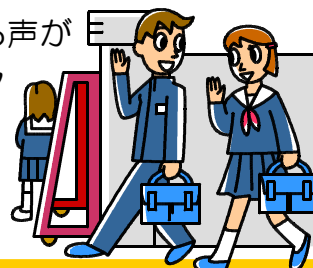
相手に元気を届けられるようなあいさつができる西溪っ子になってほしいと、これまでも何度か話をしてきましたが、朝のあいさつが元気にできない人が多いのが本校の課題の一つです。そこで、あいさつを元気にできる人を増やせないかと、9年生ですでに進路が決まっている人たちに、相談しました。すると、快くあいさつ活性化のための活動をしてくれる有志のメンバーが集まりました。リーダーの西山さんをはじめ、江打さん、江副さん、岡部さん、小野さん、南さん、山北さん、山田さんの8名です。チーム名は、あいさつの頭文字をとって「プロジェクトA」。およそ一ヶ月かけて、プレゼンテーションのシナリオや分かりやすく説明したパワーポイントの作成、プレゼンの練習、朝のあいさつ運動など、自分たちにできることは何かを考えて、自発的に練習や活動をしてくれました。そして、2月28日(月)5年生以上が参加をする西溪集会で、その取組を発表し、西溪校の児童生徒のみんなが少しでもあいさつができるよう訴えかけてくれました。

その日以来、朝のあいさつが確実に変わった人が増えました。自分から進んで遠くからでもあいさつをする人、立ち止まってあいさつする人、笑顔で大きな声であいさつをする人が多くなると、朝からとてもパワーをもらいます。朝の玄関前の雰囲気がとても明るくなりました。

あいさつは、コミュニケーションの第一歩。相手に元気を与えることができる大事な方法のひとつです。これからも、「あいさつに心をのせて」言うことができる西溪っ子がどんどん増えてほしいと思います。卒業する9年生も、それを願っているはずで



笑顔でのあいさつや元気にあいさつする声が校舎内にあふれ、登下校中も地域の方々に進んであいさつしている声が響く、多久町、西多久町にしましょう！



卒業式は9年間の集大成

平成25年に西部小、中部小、西溪中がひとつの学校になり、小中一貫校としてスタートしたのち義務教育学校となって、9年の月日が経ちました。当時1年生として入学した子どもたちが、9年生としてまもなく旅立ちます。これまで、西溪校で学んできたことを、外の世界へ出て試す時がやってきました。それは西溪校の教育の成果が問われるときでもあります。9年生はとても素直で人を大切にできる学年です。コロナ禍で楽しみにしていた行事を縮小せざるを得なかったときでも、現状を理解して出来ることを精一杯楽しむと言ってくれた学年です。これまで学んだこと、成長したこと、支えてくれた人たちへの感謝、これから歩む新しい人生への決意、それらを全部まとめて、姿勢や礼法等、一挙手一投足に思いを込めた卒業式にしてほしいと思っています。

残念ながら、今年も地域からの来賓はご遠慮いただいたの卒業式になりますが、地域の方は常に西溪校を応援してくださっています。これまで支えてくださったこと、応援いただいたことを忘れずに、全校の児童生徒全員の気持ちを一つにして、卒業式を思い出に残るものにしましょう。

現在、卒業式の会場になる西体育館玄関には、いつも学校にお花を寄付してくださる福島さん（お孫さんが在籍）と、緒方先生のクラブによる卒業式のための生け花が飾られています。このように、私たちの周りには家族や親族をはじめ、地域の方々の、学校や子どもたちのことを思う気持ちであふれています。それら全てに感謝をしながら、9年生の新たな旅立ちに向けて、全校生徒で厳粛で温かな卒業式を創り上げましょう。



入賞おめでとう！

3学期の表彰をお知らせします。それぞれ自分の得意な分野で活躍し、受賞した皆さんです。これからも楽しみにしています。

○新年書き方会 佐賀県審査

毛筆入選 4年 稲毛さん 藤田さん

○佐賀県学童美術展 立体の部

特選 3年 原田さん 8年 花岡さん

準特選 4年 中島さん 5年 富永さん 7年 永田さん

○多久市「税に関する作品」書写

租税教育推進協議会長賞 9年 陣内さん 奨励賞 9年 北川さん

○高田保馬博士顕彰記念書道・文学作品コンクール

銅賞 5年 上中さん 1年 西山さん

○夢パレットジュニア博士 単位認定証 200単位 7年 中島さん